

2014年10月10日（金曜）

## 茶臼岳・姥ヶ平

レポート by 熊本、写真（堀、吉松、能勢、布目、熊本）

例年なら紅葉のピークである10月10日（金）11日（土）で「姥ヶ平」と「中の大倉尾根」の紅葉と、茶臼岳、三本槍岳の登頂を目指し、秘湯「三斗小屋温泉」（泊）を企画した。



東京 6:40「やまびこ 203 号」に堀さん、熊本、上野から布目さん、大宮から小山さん、川島さん、能勢さん、吉松さんが乗車し、今回の那須岳の参加は以上の7名である。



定刻通り 7:50 に那須塩原に到着



8:05 の那須ロープウエー行のバスを待つ



バスは那須街道の渋滞もなく、スムーズに予定通り、那須ロープウエー山麓駅に9:20 に到着した。

ロープウエー駅舎内では大勢の中学生がジャージ姿でロープウエーを並んでいた。我々も身支度し出発前に茶臼岳をバックに写真を撮って出発する。風は非常に強い (9:33)。



山麓駅付近から撮った朝日岳裾野の鬼面山の紅葉





登山口（駐車場近く）まで約 10 分の登りである。



階段状の樹林帯を暫く登る。



舗装道路になると、茶店があり、登山口は近い。





登山口の鳥居を潜ると、「山の神」の碑と祠があった。

昭和 15 年から 19 年に硫黄精錬所があり、その安全祈願のため設置され、その後は登山者の安全を守る「山の神」だそうだ（9:55）。



数分登ると紅葉した木の間から朝日岳の尾根が見えだした。



更に 10 分で尾根筋にでて、一気に視界が開け、茶臼岳、朝日岳が姿を現す。

ここで最初の休憩。

写真後方は茶臼岳。





正面に朝日岳の全貌が広がる。  
紅葉の最盛期は1週間前であったが、太陽の光を浴びると、赤みが鮮やかになりまだ、紅葉は楽しめた。



茶臼岳を見上げる。



朝日岳（1896m）と茶臼岳（1915m）の谷合の沢は風の通り道で、常に強風が吹きあがる。今日も15m以上の強風だろう。





背景は鬼面山（1616m）の紅葉  
クマ笹の緑とのコントラストが良い。



強風に向かいながら・・・



峰の茶屋までもう少し。  
強風のお蔭で、峰の茶屋到着は予定から  
20 分弱遅れ、このペースで女性陣は茶臼  
岳登頂し姥ヶ平へは厳しくなり、二手に分  
かれて行動することになった。  
健脚組（堀さん、吉松さん、能勢さん）は  
予定通り茶臼岳へ、川島さん、布目さん、  
小山さんの女性陣と熊本は茶臼の中腹を  
巻いて姥ヶ平に行くことにした。





強風に向かって登頂を目指す、堀さん、  
能勢さん、吉松さん



中腹の巻き道は殆どフラットな登山道で、  
途中噴煙を上げている直ぐ近くを通る。



シューシューと大きな音を発しながら噴  
煙をあげている。木曾御嶽山が過る。  
茶臼岳は中腹でも、数か所噴煙を上げて活  
発である。  
牛首まで行く。





牛首に行く途中、下を望むと左に「姥ヶ平」と右に「ひょうたん池」が見え、その周囲が紅葉で染まっている。



我々が牛首から姥ヶ平に下り始めた頃、



健脚組は山頂に到着（11:30）したが、山頂付近はロープウエー山麓駅にいた中学生に占拠されていた。





健脚組は、茶臼岳山頂の那須岳神社祠の前で記念写真



茶臼岳山頂 1915m の標識を囲んで記念写真。



健脚組が茶臼岳山頂で写真を撮っているころ軟弱組は姥ヶ平に到着した（11:50）





紅葉のピークは過ぎたとはいえ、赤く色着いた紅葉に噴煙を上げる茶臼岳は映え、見事である。



健脚組は茶臼山頂で昼食を取るはずなので、我々軟弱組は姥ヶ平で昼食とした。  
(12:00～)

布目さんがワンカップを、川島さんが、夏みかん焼酎を持参して頂き、乾杯！  
(健脚組には申し訳ない)





昼食をゆっくり取り、紅葉の写真等を撮って、いると、健脚組が牛首から下って来るのが見えた。



姥ヶ平で再開、合流した。





全員が姥ヶ平に集合し、記念写真を撮影し本日の宿「三斗小屋温泉」に向かう（13:20）



三斗小屋温泉に向かう途中に「ひょうたん池」があり、寄ってみる。



ひょうたん池





三斗小屋温泉へは下りが続く。



標高 1500m付近に高度を下げると紅葉も鮮やかになってきた。



青空に赤が良く映える。





途中沢を渡り



15:30 頃に三斗小屋温泉に到着した。  
過去二回は「大黒屋旅館」に泊まったが、  
今回は露天風呂がある「煙草屋旅館」に泊  
まることにした。



早速女性陣は露天風呂で汗を流し、男性陣  
は内湯で汗を流し、部屋で乾杯！





露天風呂は開放感があって良い。



夕食（16:30～）は他の GP は大食堂で一緒だが、我々は別室に用意されて別格扱いだった。早い申込みだったからか？  
寝る前に温泉に再度入り、明日の三本槍岳登頂を念じて寝付いた。  
男性部屋は8畳に4名、女性は6畳に3名と余裕があった。

11日（金）三本槍岳に続く

